

お得意先名：御所薬舗株式会社様	<使用色>	<使用ソフト>	<確認印>	<校正確認印>
品 名：ピラコールゴールド顆粒50包袋	特記	Illustrator CC	ご担当	営 業
サ イ ズ：W×H				制 作
作 成 日：2026.04.06				
2 枚：				

2026年4月改訂

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第②類医薬品

販売名: **ピラコールゴールド** 顆 粒 50包

【ピラコールゴールド顆粒の特徴】

- ◎甘草抽出成分や桂皮末を配合し、生薬特有の芳香と味があり、のみやすく、すぐに溶け、かぜの症状をすみやかに改善します。
- ◎気管支喘息や、気管支炎にももちいられるdl-メチルエフェドリン塩酸塩は、よりすぐれた効果をあらわし、ノスカピンとともにすばらしい鎮咳去痰作用を発揮します。
- ◎非ピリン系解熱鎮痛剤アセトアミノフェン・エテンザミドの相乗作用で、さむけ、発熱、頭痛にすぐれたききめをあらわし、さらにカフェインを配合して、その作用をいっそう効果的にします。
- ◎抗ヒスタミン剤のクロルフェニラミンマレイン酸塩は、アレルギー症状に強い抑制作用をもち、初期症状の鼻水・鼻づまりに効果的に働きます。

【成分及び分量と働き】

成 分	1日量3包中 (3包3600mg)	作 用
アセトアミノフェン	720mg	熱を下げ頭痛や、のど、関節のいたみをやわらげるのによく効きます。
エテンザミド	300mg	
クロルフェニラミン酸塩	7.5mg	くしゃみ、鼻水、鼻づまりを抑えます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	40mg	気管支をひろげ、せきをしずめ、たんをやすくします。
ノスカピン	48mg	すばやい効きめで、せきを抑えます。
無水カフェイン	120mg	かぜによる頭痛をやわらげます。

添加物として、ケイヒ末(桂皮末)、グリチルリチン酸二カリウム(甘草抽出成分)、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、バレイショデンプン、法定色素を含む。

【効能・効果】

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

【用法・用量】 次の量を1日3回食後なるべく30分以内に服用すること

年 齢	1回量	1日服用回数	年 齢	1回量	1日服用回数
15才以上	1 包		3才以上7才未満	1／3包	
11才以上15才未満	2／3包	3回	1才以上3才未満	1／4包	3回
7才以上11才未満	1／2包		1才未満		服用しないこと

＜用法及び用量に関連する注意＞

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

使用期限

製造番号

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

お客様相談窓口

御所薬舗株式会社
0745(62)3388(9:00～17:00)
月～金(土・日・祝日を除く)

製造販売元
御所薬舗株式会社
奈良県御所市1207番地

要 確認

紙 外袋

△ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

- 1.次の人は服用しないこと
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
- 3.服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある。)
- 4.服用前後は飲酒しないこと 5.過量服用・長期連用しないこと

🗣️ 相談すること

- 1.次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)授乳中の人。(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5)高齢者。
(6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7)次の症状のある人。 高熱、排尿困難
(8)次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ	泌尿器	排尿困難
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下
精神神経系	めまい		

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

- 3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること □のかわき、眠気
- 4.5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること